

令和7年度 静岡県立科学技術高等学校第2回学校運営協議会議事録

開催日時	令和7年10月25日（土）午前10時から正午まで
開催場所	静岡県立科学技術高等学校 応接室、校内
委員員	追分 敏則（長沼2区町内 会長） 川村 文乃（会社役員・本校PTA副会長） 佐藤 克彦（いなば食品株式会社 静岡業務部部長）欠席 増田 一（静岡科学館「る・く・る」次長）欠席 三倉 和彦（静岡県発明協会 事務局長） 室伏 春樹（静岡大学教育学部 講師） （五十音順）
学校	大澤 貢 校長、田中 学 副校長、今野 由季子 教頭 米田 哲也 教頭、鈴木 章司 事務長
議事等	・蒼穹祭の概要説明、懇談（全日制・定時制） ・蒼穹祭見学 ・第3回学校運営協議会は、令和8年2月16日（月）10時から正午
配布資料	・2026年度学校案内、新聞記事、蒼穹祭パンフレット

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- ・蒼穹祭の教育活動としての趣旨説明
 - ・新聞記事紹介（済州島、エコランカー、教育長表敬訪問、ドリームプロジェクト）
- 3 蒼穹祭について
- (1) 概要説明（副校長）
- ・科展示の趣旨と、場所
 - ・定時制展示場所
- (2) 見学
- (3) 研修（懇談）蒼穹祭を見学しての感想・助言
- (委員)・エコランカーの展示を拝見した。熱い生徒の語りが印象的だった。
- ・成功体験は、人の人生を左右することがある。
- (委員)・生徒といろいろ話したが、それぞれ生徒の個性を感じた。説明する生徒に、自信と誇りがあふれ、生き生きとしていた。
- ・小学生から大人までが楽しめる内容になっている。また、特に小中学生には、科学の視点から興味がわく内容になっている。科学に興味を持ち、新しい技術を開発する人材が育つことを期待している。
- (委員)・学校の施設のつくりが文化祭に向いている。工場が「見せる工場」になっており、中学生や普通科高校の生徒にとって、工業高校はこのようなところだというのが視覚的に伝わりやすい。

- ・説明をしてくれた生徒は、最初はしり込みしていたが話始めたら熱い思いを語ってくれた。
- ・同窓会の展示が、科学技術高校ならではと感じた。同窓会が、学校を支えていく。

(委員) • 生徒がはつらつとしており、その様子に来場した人も楽しめていたと感じる。
• 子どもが、科学を体験できるのが良い。普通科高校では、模擬店が多いが、自分が学んだことを展示するという経験は、社会に出て活かすことができ、大変良い。
• 安全について。部活動では熱中症に配慮し、安全に指導して欲しい。

(4) 諸連絡

- ・第3回学校運営協議会は、令和8年2月16日（月）10時から正午の予定

7 閉会